

様式 1 (第 6 関係)

平成〇〇年 1 月 1 0 日

〇〇地域県民局地域農林水産部長 殿

(申 請 者)

集団名 青森県こだわり生産組合

〒 住 所 030-8570青森市長島 1-1-1

電 話 017-734-〇〇△×

氏 名 組合長 長島一郎 印

平成〇〇年産青森県特別栽培農産物 生産流通計画承認申請書

青森県特別栽培農産物認証要綱第 6 の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

1 申請計画概要

区 分	1	2	3	4
作物名	水稻			
農薬等使用区分 農 薬 化学肥料	節農 5 化不			
生産者数(人)	3			
栽培面積(a)	9 0			
栽培ほ場数(筆、棟数)	3筆			
生産量(t、kg)	4.5トン			
出荷量(t、kg)	4.5トン			

注) 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化 5」、「節農不・化不」
「節農 5・化不」、「節農不・化 5」、「節農 5・化 5」と記載する。

2 関係書類

(1) 申請者等

申請者一覧表(別紙 1)、栽培責任者及び確認責任者届(別紙 2)のとおり

(2) 作物及び農薬等使用区分

作物・農薬等使用区分別申請内容一覧表(別紙 3)のとおり

(3) 栽培ほ場所在地

ほ場位置図(別紙 4)のとおり

(4) 栽培管理

栽培管理計画(別紙 5)のとおり

(5) 販売・出荷

出荷計画(別紙 6)のとおり

(6) 認証票の使用

認証票使用計画(別紙 7)のとおり

(7) 情報提供に関する承諾書

情報提供に関する承諾書(別紙 8)のとおり

(8) その他

(別紙1)

生産者一覧表

No.	生産者氏名	住 所 (TEL)	経営耕地面積	特別栽培農産物 栽培経験の有無
1	長島 一郎	青森市長島1-1-1 (017-734-〇〇△×)	水田 2ha、樹園地 0ha 畑 1ha、牧草地 0ha 計 3ha (内借地 1ha)	有
2	農業 太郎	青森市△△ (017-▽▽▽-◎◇◆△)	水田 1ha、樹園地 0ha 畑 2ha、牧草地 0ha 計 3ha (内借地 1ha)	有
3	福祉 次郎	青森市◇▲ (017-◇◇◇-●◆□☆)	水田 0.3ha、樹園地 0.4ha 畑 0.8ha、牧草地 0ha 計 1.5ha (内借地 0.8ha)	有
		(- -)		
		(- -)		
		(- -)		
		(- -)		
		(- -)		

注) 農作業受委託面積は除く。

(別紙2)

平成〇〇年1月10日

〇〇地域県民局地域農林水産部長 殿

(栽培責任者)

〒 住 所 030-8570青森市長島1-1-1

電 話 017-734-〇〇△×

氏 名 長島 一郎 印

(確認責任者)

〒 住 所 030-△ 青森市長島2-★

電 話 017-◇◇◆◆-☆■△×

氏 名 青森 三郎 印

平成〇〇年産特別栽培農産物
栽培責任者及び確認責任者届

青森県特別栽培農産物認証要綱第6の規定に基づき、特別栽培農産物の生産及び確認についてその責任者として届出します。

記

項 目	栽培責任者の概要	確認責任者の概要
1 職業及びその概要 〔組織に所属するものはその 所属と役職名等を記入〕	農業 青森県こだわり生産組合長	〇〇地域農事振興会指導員
2 特別栽培農産物栽培経験等	農薬5割以下・化学肥料5割 以下で3年	農薬不使用・化学肥料不使用 で5年
3 申請者との関係	組合長	組合の生産技術の指導を 行っている。
4 その他		

(別紙 3)

作物・農薬等使用区分別申請内容一覧表

作物名		水稻	農薬等使用区分	農薬：節農５	化学肥料：化不
No.	生産者氏名	栽培面積(a)	栽培ほ場所在地		備 考
1	長島 一郎	30	青森市長島〇〇字〇×－△		つがるロマン
2	農業 太郎	30	青森市△△		まっしぐら
3	福祉 次郎	30	青森市××		つがるロマン
合 計		90			

注) 1. 作物毎、農薬等使用区分ごとに記載する。

2. 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化5」、「節農不・化不」、「節農5・化不」、「節農不・化5」、「節農5・化5」と記載する。

(別紙 4)

ほ 場 位 置 図

作物名	水稻	農薬等使用区分	農薬：節農5	化学肥料：化不
生産者氏名	長島一郎	栽培ほ場所在地	青森市長島〇〇字〇×-△	栽培面積 30 a

<位置図>

排水90cm

用水90cm

一般住宅

転作大豆 (粒剤で影響無)

慣行水田 (同意有)

転作そば (農薬、化学肥料不使用)

★看板

5 m

★看板

※畦畔は全て30cm幅 →西

慣行水田 (同意有)

慣行水田 (同意有)

慣行水田 (同意有)

慣行水田 (協力の同意あり)

ネット90cm高

5 m

↓北

慣行水田

慣行水田

慣行水田

転作大豆

注) 1. 当該ほ場が他のほ場から影響を受けない状況がわかるように、隣接農用地の栽培状況、農薬等の影響防止対策、樹木、距離(m)、区画、農道等まで詳細に記入すること。

2. 看板の設置予定場所についても記載すること。

3. 注) 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化5」、「節農不・化不」「節農5・化不」、「節農不・化5」、「節農5・化5」と記載する。

(別紙5)

平成〇〇年産栽培管理計画

1 栽培作物及び場所

作物名	水稻	栽培面積	90a
農薬等使用区分	農薬：節農5 化学肥料：化不		

2 栽培管理

(1) 栽培管理計画

時期 (旬、日)	作業名	資材使用 の有無
9月26日 ～ 3月中旬	前作の収穫、収穫後耕起、稲わら鋤込み 種子予措（塩水選・温湯消毒） 床土準備	無 無（塩）
4月中旬	育苗（プール育苗） 本田耕起、基肥散布	有 堆肥
5月中旬	田植え	無
6月	除草 随時手取り除草	有
6月下旬	病害防除	有
8月中旬	害虫防除	有
9月上中旬	落水	
9月末	収穫、乾燥	
10月中旬	出荷	
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		
計画生産量 4.5 t、kg(500kg/10a)		
看板設置予定 6箇所		
栽培上の特記事項：堆肥の散布による地力増進。 温湯消毒による病気の予防。		

- 注) 1. 作業については、前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までを記入する。
2. 集団の場合、栽培についての申合せや取決めに関する資料を添付する。
3. 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化5」、「節農不・化不」
「節農5・化不」、「節農不・化5」、「節農5・化5」と記載する。

(2) 除草及び病虫害防除の方法

除草の方法	除草剤 1 回散布のほかは、手取り除草とする。
病虫害防除の方法	木酢液の葉面散布により病虫害に強い植物体の育成を基本とするが、いもち病及びカメムシは農薬散布（登録農薬）により対処する。 予想以上に病虫害が発生し、さらなる薬剤散布が必要になった場合は、農薬を散布し、取り下げる。

注) 1. 除草の方法は、手取り除草や除草機使用等を詳しく記入する。

2. 病虫害防除の方法は、基本的な対策のほか、予想以上に病虫害が発生した際の対応についても含めて記入する。

(3) 種子・種苗の状況

① 自家採種又は自家採種以外の区別（○を付ける）

自家採種 ~~自家採種以外~~

② 自家採取以外の種子、種苗に対する入手前の化学合成資材の処理状況

ア 化学合成肥料（○を付ける） 処理 ~~無処理~~

イ 化学合成農薬（○を付ける） 処理 ~~無処理~~

3 使用資材（使用が予想される全ての資材を記入する。）

(1) 肥料、土壌改良資材及び堆肥等

資 材 名	天然・化学 系資材の別	使用量	時 期 (月日)	窒 素 成分量	うち化学 合成窒素
堆肥（自家製）	天然	(kg/10a) (希釈倍数 1/10) 3,000 Kg	4/30	(kg/10a)	(kg/10a) 0
合 計					0
当 該 作 物 の 認 証 基 準 値					4. 0

注) 1. 土づくり資材含む。

2. 有機質肥料に化学肥料を含む場合（配合肥料）の場合は、化学資材と記入する。

(2) 農薬

農 薬 名	成 分 数	使用量	時期 (月 日)	対象病害虫・雑草等名
		(希釈倍数 リットル/10a) (kg/10a)		
タチガレエース粉剤	2	0.32kg	4/10	苗立枯病防除
ダイハード顆粒	2	60g	6/ 1	ノビエ等除草対策
オリゼメート粒剤	1	3.0kg	6月下旬	いもち病
Mr. ジョーカー粉剤DL	1	3.0kg	8月中旬	カメムシ防除
合 計	6			
当該作物の認証基準値	8			

- 注) 1. 種子又は育苗に使用された農薬名も記入する。(2の(3)の種子種苗を除く)
2. 農薬名が特定できない場合は、〇〇剤、△△剤、××剤のうち1剤とし、成分数はその候補の中で最も成分数の多い数値を記載する。
3. 液剤等希釈して使用するものは、使用量は希釈倍数と散布量を記載する。
4. 同一農薬を複数回散布する場合は、それぞれを記入すること。

(3) その他資材

資 材 名	天然・化学系 資材の別	内 容	使用目的	使用量	時期 (月 日)
ヒバ油	天然	市販 ヒバの間伐 材から抽出	健全生育確保の ための 葉面散布	(kg/10a) ★〇Kg	7月上旬

注) (1)(2)以外の目的で使用するものを記入(ヒバ油、〇〇抽出物等)。

(4) 自家製造資材の原料・製造方法

資 材 名	原 料 名	製 造 方 法
堆肥	稲わら、牛糞 鶏糞、魚粕、なたね粕	混合し、年間4回切り返して 3年間熟成する。

- 注) 1. (1)(2)(3)において該当するものを記入。
2. 資材名は(1)(2)(3)において記入した名称を用いること。

- 注) 1. 資材は、前作の収穫終了後から使用したものを記載する。
2. 購入資材については、カタログ、説明書等内容がわかる資料を添付すること。

(別紙6)

平成〇〇年産出荷計画

1 対象作物及び出荷時期

作物名	水稻
農薬等使用区分	農薬：節農5 化学肥料：化不
出荷責任者	長島 一郎
出荷期間	〇〇年10月上旬～〇〇年11月上旬

注) 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化5」、「節農不・化不」、「節農5・化不」、「節農不・化5」、「節農5・化5」と記載する。

2 販売方法等

販売方法	出荷・販売先	米（玄米出荷）の場合				野菜・畑作・果実の場合					
		玄米生産 数量	玄米出荷数量			出荷形態別出荷量					
			30kg詰	kg詰	出荷量計	バラ	束	箱	袋	その他	出荷量計
契約販売	契約先・住所(TEL)	(kg)	(袋)	(袋)	(袋)						
産直販売 (宅配等)	販売先・住所(TEL)										
委託販売	委託先名・住所(TEL) ☆☆農業協同組合 青森市〇〇字◆◆ー▽▽ (〇 1 7ー7◇◇ー■ ■△△)	4,500	150		150			※ 〇kg詰 〇箱			※ 〇〇kg
市場出荷	市場名										
イベント 販売	イベント名										
自店販売											
その他											
合 計		4,500	150		150						
米の場合	精米しない（上記項目に記載する） 精米する（精米流通計画を申請する）										
その他特記事項 こだわり生産組合は玄米で農協へ出荷、農協で精米した後一般に出荷する。											

※りんごの場合の記載方法

(別紙 7)

平成〇〇年産認証票使用計画

作物名	水稻	農薬等使用区分	農薬：節農 5 化学肥料：化不	
認証票の管理責任者	氏名 長島 一郎 住所 青森市長島 1－1－1 (Tel) 0 1 7－7 3 4－〇〇△×			
使用期間	〇〇年 1 0 月上旬 ～ 〇〇年 1 1 月上旬			
作成時期	9 月 2 5 日頃			
規格別使用枚数	大規格	中規格	小規格	計
シール	1 5 0 枚			1 5 0 枚
現在在庫枚数	0 枚			0 枚
注文枚数	1 5 0 枚			1 5 0 枚

注) 農薬等使用区分は、「農不・化不」、「農不・化 5」、「節農不・化不」

「節農 5・化不」、「節農不・化 5」、「節農 5・化 5」と記載する。

認証票大シール 1 0 枚綴り、認証票中シール 2 0 枚綴り、認証票小シール 5 0 枚綴り

情報提供に関する承諾書

以下の2つの項目について、「承諾します」もしくは「承諾しません」のどちらかをチェックしてください。

区 分	承諾します	承諾しません※
① 県ホームページ等で、特別栽培農産物に関する事項（生産者名、市町村名、農薬・肥料区分、作物名、販売店舗、出荷時期）を情報提供すること		
② 特別栽培農産物の取扱いを希望する流通業者等から情報提供の依頼があった場合、特別栽培農産物に関する事項（申請者名、市町村名、電話番号、作物名、面積、農薬等使用区分）について、情報提供すること		
③ 認証基準を満たさない、または満たさないおそれが生じた際、流通業者から貴殿の栽培した農産物について問い合わせがあった場合、特別栽培農産物に関する事項（申請者名、市町村名、電話番号、作物名、面積、農薬等使用区分）について、流通業者等へ情報提供すること		

※②、③の申請者名、市町村名、電話番号、作物名、面積、農薬等使用区分の6つの事項のうち一部の事項は非提供の場合、提供先に制限のある場合を含む

住 所 青森市長島1-1-1

申請者名 青森県こだわり生産組合
組合長 長島 一郎 印